



平成30年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年6月30日

上場会社名 DCMホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3050 URL <https://www.dcm-hldgs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 久田 宗弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 熊谷 寿人 TEL 03-5764-5214
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	118,317	0.8	6,944	0.0	6,831	5.6	4,425	18.9
29年2月期第1四半期	117,413	3.9	6,944	17.1	6,466	10.8	3,723	9.0

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 4,277百万円 (△5.6%) 29年2月期第1四半期 4,531百万円 (△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	31.20	27.23
29年2月期第1四半期	27.34	26.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第1四半期	403,721	181,608	45.0
29年2月期	393,261	179,174	45.6

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 181,608百万円 29年2月期 179,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	11.00	—	13.00	24.00
30年2月期	—	—	—	—	—
30年2月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 29年2月期 期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	239,400	3.9	13,600	5.3	13,200	8.1	8,400	14.2	59.23
通期	456,800	3.0	20,600	5.0	19,800	3.5	12,200	5.2	86.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期1Q	142,471,519株	29年2月期	142,468,414株
② 期末自己株式数	30年2月期1Q	641,913株	29年2月期	640,851株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期1Q	141,829,365株	29年2月期1Q	136,156,339株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
商品別売上情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策を背景に緩やかな回復基調が見られましたが、米国の政策運営や欧州の政治情勢の不安定さ、地政学リスクの高まり等、先行きについては不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、消費者の節約志向等により個人消費の動向は不透明な状況が続き、また業態を超えた販売競争もあり、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については4店舗、退店については1店舗を実施いたしました。これにより当第1四半期連結会計期間末日現在の店舗数は659店舗（DCMカーマ168店舗、DCMダイキ159店舗、DCMホームマック278店舗、DCMサンワ33店舗、DCMくろがねや21店舗）となりました。

販売面においては、熊本地震の震災需要の反動により防災関連商品の販売が伸び悩みましたが、平成28年12月に子会社化したDCMくろがねやの連結効果等もあり、売上高は増収となりました。また、DCMブランド商品については、雑誌掲載やテレビCM等販促強化に取り組んだ効果もあり、販売が好調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は1,183億1千7百万円（前年同期比100.8%）、営業利益は69億4千4百万円（前年同期比100.0%）、経常利益は68億3千1百万円（前年同期比105.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億2千5百万円（前年同期比118.9%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、8ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

(主要商品部門別の状況)

① 園芸・エクステリア部門

園芸関連商品については、春先は低温や降雨の影響を受け販売は伸び悩みましたが、4月後半から5月上旬は天候にも恵まれ、販売が好調に推移しました。また、DCMブランド商品については、除草剤や防草シート等の販売が好調に推移しました。その結果、売上高は250億3千1百万円（前年同期比102.5%）となりました。

② ホームインブルーメント部門

熊本地震の震災需要の反動により防災関連商品の販売は伸び悩みましたが、プロ専門店での販売が好調に推移しました。その結果、売上高は226億7千2百万円（前年同期比101.6%）となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

サイクル用品については、春先の需要期に自転車の販売が伸び悩みました。ペット用品についてはペットフードの販売が伸び悩みました。バーベキュー用品については、DCMブランドを中心とした販促強化により、堅調に推移しました。その結果、売上高は176億3千9百万円（前年同期比99.6%）となりました。

④ ハウスキーピング部門

家庭用品については、DCMブランド商品の便利な仕様の室内物干しシリーズが支持され販売を伸ばしましたが、ボトル・水筒等の季節品の販売は伸び悩みました。日用消耗品については、殺虫剤や紙類等の販売が低調に推移しました。その結果、売上高は276億6千3百万円（前年同期比99.5%）となりました。

⑤ ホームファニシング部門

春の新生活需要の動きが鈍く、組み立て家具や衣料収納の販売は伸び悩みましたが、取り組みを強化したDCMブランドのタオルの販売が好調に推移しました。その結果、売上高は75億8千6百万円（前年同期比97.1%）となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

熊本地震の震災需要の反動により、電池や懐中電灯等の防災関連の販売は伸び悩みましたが、取り組みを強化した電材関連の販売は堅調に推移しました。その結果、売上高は77億7千4百万円（前年同期比96.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、季節的要因により商品在庫や売掛金が増加したことや、新規4店舗の出店等により有形固定資産が増加したことから、資産合計は前連結会計年度末に比較して104億6千万円増加し、4,037億2千1百万円となりました。

負債残高は、季節的要因により買掛金が増加したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比較して80億2千6百万円増加し、2,221億1千3百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いがありました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して24億3千3百万円増加し、1,816億8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月11日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,533	14,492
受取手形及び売掛金	4,542	7,490
リース投資資産	2,287	2,253
商品	92,087	96,326
繰延税金資産	1,933	1,298
その他	6,794	7,329
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	119,178	129,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	209,653	211,736
減価償却累計額	△119,583	△120,774
建物及び構築物 (純額)	90,070	90,961
土地	81,585	81,500
リース資産	14,138	14,355
減価償却累計額	△3,191	△3,398
リース資産 (純額)	10,947	10,957
建設仮勘定	4,462	4,565
その他	34,982	35,713
減価償却累計額	△27,415	△27,983
その他 (純額)	7,566	7,730
有形固定資産合計	194,633	195,714
無形固定資産		
のれん	1,989	1,889
借地権	6,356	6,379
ソフトウェア	3,754	3,846
その他	251	249
無形固定資産合計	12,351	12,364
投資その他の資産		
投資有価証券	18,368	18,192
敷金及び保証金	42,532	42,176
繰延税金資産	2,247	2,172
長期前払費用	2,808	2,806
その他	1,222	1,185
貸倒引当金	△81	△81
投資その他の資産合計	67,097	66,452
固定資産合計	274,082	274,531
資産合計	393,261	403,721

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,963	34,322
電子記録債務	16,497	18,769
短期借入金	47,720	50,720
1年内返済予定の長期借入金	16,790	16,421
リース債務	559	619
未払法人税等	4,179	1,698
賞与引当金	2,647	1,659
役員賞与引当金	5	5
ポイント引当金	559	555
その他	13,163	14,378
流動負債合計	127,086	139,150
固定負債		
新株予約権付社債	19,987	19,984
長期借入金	42,470	38,456
リース債務	12,240	12,256
繰延税金負債	1,085	1,075
再評価に係る繰延税金負債	147	147
役員退職慰労引当金	74	—
退職給付に係る負債	393	378
資産除去債務	1,747	1,778
長期預り金	5,547	5,581
その他	3,305	3,303
固定負債合計	86,999	82,962
負債合計	214,086	222,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,006	10,008
資本剰余金	45,101	45,103
利益剰余金	123,760	126,304
自己株式	△386	△387
株主資本合計	178,482	181,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,656	2,501
繰延ヘッジ損益	△10	△3
土地再評価差額金	△1,969	△1,935
退職給付に係る調整累計額	16	16
その他の包括利益累計額合計	692	579
純資産合計	179,174	181,608
負債純資産合計	393,261	403,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	115,851	116,599
売上原価	78,295	77,851
売上総利益	37,555	38,747
営業収入		
不動産賃貸収入	1,562	1,717
営業総利益	39,117	40,465
販売費及び一般管理費	32,173	33,521
営業利益	6,944	6,944
営業外収益		
受取利息	58	53
受取配当金	51	53
為替差益	—	40
持分法による投資利益	—	139
その他	101	91
営業外収益合計	211	378
営業外費用		
支払利息	419	413
為替差損	248	—
その他	20	77
営業外費用合計	688	490
経常利益	6,466	6,831
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	48	23
減損損失	82	56
賃貸借契約解約損	—	215
災害による損失	322	—
その他	64	17
特別損失合計	517	312
税金等調整前四半期純利益	5,949	6,518
法人税、住民税及び事業税	1,615	1,338
法人税等調整額	610	754
法人税等合計	2,226	2,093
四半期純利益	3,723	4,425
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,723	4,425

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)
四半期純利益	3,723	4,425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	649	△152
繰延ヘッジ損益	151	7
土地再評価差額金	7	—
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△2
その他の包括利益合計	808	△147
四半期包括利益	4,531	4,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,531	4,277
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	34,118	25,799	50,640	6,854	117,413	—	117,413
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	20,729	20,732	△20,732	—
計	34,118	25,800	50,642	27,583	138,145	△20,732	117,413
セグメント利益	2,010	1,392	3,372	2,654	9,430	△2,486	6,944

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)及びDCMサンワ(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△2,486百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	34,497	24,729	49,427	9,663	118,317	—	118,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	1	1	14,755	14,798	△14,798	—
計	34,537	24,730	49,429	24,419	133,116	△14,798	118,317
セグメント利益	2,070	1,369	3,256	2,746	9,442	△2,498	6,944

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)及びDCMサンワ(株)並びにDCMくろがねや(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△2,498百万円は、セグメント間取引消去△2,499百万円、その他0百万円
であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

3. 補足情報
商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第1四半期 連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自平成28年3月1日 至平成29年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	24,410	21.1	25,031	21.5	70,114	16.0
ホームインプルーブメント	22,307	19.3	22,672	19.4	86,236	19.7
ホームレジャー・ペット	17,717	15.3	17,639	15.1	66,736	15.3
ハウスキーピング	27,807	24.0	27,663	23.7	112,234	25.7
ホームファニシング	7,813	6.7	7,586	6.5	29,492	6.8
ホームエレクトロニクス	8,036	6.9	7,774	6.7	39,452	9.0
その他	7,758	6.7	8,231	7.1	32,668	7.5
合計	115,851	100.0	116,599	100.0	436,935	100.0

- (注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。
2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材 住宅設備他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、 ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他

3. 当第1四半期連結累計期間においてホームセンター事業の商品区分を一部変更したため、前年比較にあたっては、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度分を変更後の区分に組替えて表示をしております。